

はまなす句会（八月二十四日）（第百十四回）

秋茄子の肌にはじける水の色

圭二

鈴虫の強弱のあり夜の更くる

菊枝

朝夕の涼しさ糧に畑仕事

由美子

炎昼を帰りて家の水うまし

久子

温度計見る気も失せて熱帯夜

克司

しじまより秋のおとずれひしひしと

玲子

颯爽と波蹴散らしてボート航く

則子